

環境協定締結事業所におけるこの1年間の取組みの成果

事業所名	敦賀信用金庫
代表者	理事長 坊 栄二（従業員数 141）
所在地	敦賀市本町1丁目11-7
協定期間	平成28年2月23日～平成29年2月22日 (初回締結日 平成19年2月23日)

取組み内容と成果

- ◇ 三方支店の建て替えに伴い、店舗内の照明を環境にやさしいLED照明に切り替えました。
- ◇ 預金通帳の印刷や配送の際に排出される温室効果ガスの削減活動に投資することにより、温室効果ガス排出量が実質ゼロとなる「カーボンオフセット通帳」を作成、配布しました。
 - ・カーボンオフセットの通帳5種類、証書1種類を発行。
- ◇ 住宅や自動車の省エネ化に積極的に取り組まれるお客様向けに、ローン金利を低減することで、環境への意識の啓発や省エネ住宅設備、低公害車の普及を支援しました。
 - ・「リフォームローン“快良くん”」 平成25年1月～平成29年1月
オール電化や省エネガス・石油機器利用住宅、太陽光発電システム導入住宅、燃料電池コージェネレーションシステム購入者のローン金利を優遇することにより、省エネ住宅の普及に貢献
- ◇ 節電と燃やせるごみの減量、資源ごみの分別回収を進めるため、家庭や事業者の活動に応じて金利を上乗せする定期預金を販売し、低炭素および循環型社会に向けた取組みを行いました。
 - ・「第14回 eco 定期預金」〔取扱期間：平成27年12月～平成28年5月〕
定期預金の金利上乗せ基準となる、平成27年10月から平成28年9月の3市町（敦賀、美浜、旧三方町）の3市町燃やせるごみの量が、前年と比較して134.69トンの減少となりました。
 - ・「第15回 eco 定期預金」〔取扱期間：平成28年12月～平成29年5月〕
「ごみの減少で金利アップ」として、燃やせるごみの減量を呼びかけるとともに、毎月の燃やせるごみの量ポスターを店頭に掲示しごみの減量を喚起
 - ・「第13回リサイクル定期預金」〔取扱期間：平成28年6月～平成28年11月〕
3市町（敦賀、美浜、旧三方町）で回収される資源ごみの増加度合いに応じて金利を上乗せする定期預金を販売し、資源のリサイクル化に貢献
- ◇ 事業活動に伴う温室効果ガス排出量の大幅削減をめざして、事業所の照明・空調設備の更新や生産設備の省エネ化を進める事業者へ、利用しやすい融資制度や省エネ化と経費節減に成功した先事例をご紹介するなど、積極的にサポートを行いました。

- ◇ 毎月1日と15日の「ノーマイカーデー」の実施や、自転車通勤やアイドリングストップなどの奨励による自動車からのCO₂排出削減、クールビズ・ウォームビズなども実践し、事業活動に伴う温室効果ガス排出削減に積極的に取り組みました。

- ◇ 店舗周辺やJR駅舎、気比神宮の清掃活動に職員全員で取り組んだほか、自然保護の一環としてラムサール条約登録湿地、中池見湿地の清掃活動やセイタカアワダチソウの駆除作業を行いました。
 - ・平成28年3月26日 中池見スタッフと合同で49名による中池見湿地清掃活動
 - ・平成28年6月20日 全役職員参加によるJR駅舎、気比神宮の清掃活動

- ◇ 「LOVE・アース・ふくい」のロゴを取扱商品の広告やチラシ、パンフレット等に掲載し、年間を通して地球温暖化ストップ県民運動の普及に貢献しました。

環境協定締結事業所におけるこの1年間の取組みの成果

事業所名	株式会社東急リゾートサービス スキージャン勝山
代表者	統括総支配人 小杉 正行 (従業員数 97名)
所在地	勝山市第170号70
協定期間	平成28年2月23日～平成29年2月22日 (初回締結日 平成19年2月23日)

取組み内容と成果

- ◇ クリーンアップふくい大作戦等に社員が積極的に参加するとともに、北陸東急会としても、清掃活動やゴミ拾いボランティアに取り組んだ。
 - ・北陸東急会として、各ゴミ拾いボランティアに参加。
 - 7月24日：「ウォーキング&クリーン in 大野」福井県 41名
 - 9月25日：「ウォーキング&クリーン in 新湊」富山県 47名
- ◇ 勝山で生産された旬の野菜や果物を利用した料理を提供、販売することで、食品輸送の際の温室効果ガス排出削減、地産池消の推進した。
 - ・勝山市の推奨する「地のもん推進店」に登録し、積極的に食材使用
- ◇ 従業員全員によるセイタカアワダチソウなどの外来種植物の一斉駆除作業を行い、ササユリ、ニッコウキスゲ、アヤメなど、高原の貴重な在来植物を鳥獣被害から保護し、生物多様性と美しい景観の保全に貢献した。
 - ・イノシシの捕獲檻を2か所設置により18頭を捕獲
 - ・6月4日社員16名により法恩寺山有料道路からスキージャン施設内の外来種駆除実施
- ◇ 施設内にペットボトルキャップの回収箱を設置し、「地球環境」と「世界の子供たちの命」を守る、誰もが身近にできる活動として、広く来場者に参加を呼びかけた。
 - ・取組み内容：館内4か所、従業員バックヤード4か所に回収箱を設置。
- ◇ スキー場内で毎日生放送を行うディスクジョッキーが、地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」への参加やエコ活動を推奨するメッセージを来場客に発信したり、施設が作成するチラシやパンフレットに「LOVE・アース・ふくい」のロゴマークを掲載するなど、地球温暖化ストップ県民運動の普及啓発に努めた。
 - ・2015-16シーズンの来場客20万人に、地球温暖化防止に関するメッセージを発信
 - ・2016-17シーズンチラシ90万部、スキーパンフレット25万部にロゴマークを掲載
- ◇ 施設内のレストラン4か所でリユース箸を使用し、廃棄物の排出削減に努めた。
 - ・施設内のレストラン4か所全てで、2,200本のリユース箸を利用

◇ 待機時の大型車両から排出される二酸化炭素を軽減する方策として、大型バスの乗務員向け仮眠所を施設内に設け利用を呼び掛けた結果、仮眠所での休憩が定着し、アイドリングによるCO₂の排出量を削減した。

・2015-16シーズンの大型バス乗り入れ台数 816台